

日本学術振興会
炭素材料第117委員会
第317回委員会議事録

1. 日 時 平成28年4月15日(金) 9:30~17:00
2. 場 所 東京都市大学世田谷キャンパス 3号館メモリアルホールA
3. 出席者 38名(順不同・敬称略)

委員長： 川口雅之(大阪電通大)

副委員長： 藤本宏之(大阪ガス)

主査： 尾崎純一(群馬大)、豊田昌宏(大分大)、児玉昌也(産総研つくば)

幹事： 稲垣道夫(北海道大名誉)、安田榮一(東工大名誉)、京谷隆(東北大)、
塩谷正俊(東工大)、平田孝道(東京都市大)、丸山純(大阪市工研)、
押田京一(長野高専)、棚池修(産総研東北)

委員： 新井啓哲(東海カーボン)、岩下哲雄(産総研つくば)、加納博文(千葉大)、
清原健司(産総研関西)、園部直弘(クレハ)、高波浩(タンケンシールセー
コウ/代理：川村良一)、忠政明彦(パナソニック・エコソリューションズ)、
羽鳥浩章(産総研つくば)、平原聡(三菱化学)、福田哲生(新日鉄住金化学/
代理：水内和彦)、向井紳(北海道大)、森田純子(東洋炭素/代：森下隆弘)、
山下順也(旭化成)

委員外： 入澤寿平(名古屋大)、鎗木裕(東京都市大名誉)、曾根田靖(産総研つくば)、
西澤節(神戸製鋼)、菱山幸宥(東京都市大名誉)、干川康人(東北大)、
吉澤徳子(産総研つくば)

同伴者他： Alberto Castro-Muniz(東北大)、兒島勇(タンケンシールセーコウ)、
木村直文(タンケンシールセーコウ)、田村聡(タンケンシールセーコウ)、
山根一真(戸田工業)

4. 本委員会議事経過

4-1 前回議事録の承認

- ・ 第316回委員会議事録(案)の確認と承認を行った。
- ・ A, B, C分科会議事録(案)について、確認と承認を行った。

4-2 117委員会関連報告

(1) 委員長報告など

①会員の異動

委員(幹事)交代 : 炭素協会 清家理一郎様 → 長井紀雄様

- 新規委員外登録 : 千葉大・大場友則様、兵庫県立大・松尾吉晃様
(以上、前回発表者)
- 社名変更 : クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン → クレハ
(委員: 園部直弘様)
: 旭化成イーマテリアルズ → 旭化成
(委員: 山下順也様)
- 退会 : 東芝 (委員)、東京都市大名誉・吉田明様 (委員外)

②平成 28 年度年間計画について

下記の通り、委員会を計画している。11月の予定も決定した。

- ・ 第 317 回: 平成 28 年 4 月 15 日 (金) @東京都市大学世田谷キャンパス
- ・ 第 318 回: 平成 28 年 7 月 22 日 (金) @産総研臨海副都心センター
- ・ 第 319 回: 平成 28 年 9 月 8 日 (木) @大阪電気通信大学
※午後から開始する。
※翌日 9 日は同場所で日仏セミナーを開催
- ・ 第 320 回: 平成 28 年 11 月 11 日 (金) @東京大学

③ 本年度の特別事業: 日仏セミナーについて

- ・ 平成 28 年度特別講演会として、日仏セミナーを企画している。
- ・ 日程は、319 回委員会の翌日 9/9 に大阪電通大・駅前キャンパス (寝屋川市) を会場として終日開催する。夕刻より懇親会も行う。9/10 はフランス人招聘者の見学会や実行委員会等が関係者のみで行われる予定。
- ・ フランスから Dr. Claire Herold, Dr. Sylvie Bonnamy 他、全部で 4 名を招く予定。日本側は依頼講演者を調整中。プログラムは次回 7 月の委員会までに公表する予定。一般発表は未定だが、募集が可能になった場合はメールや HP で速やかに案内する。
- ・ 専用のホームページを立ち上げたので随時最新情報を確認してほしい。117 委員会ページにリンクが貼ってある。

④ 70 周年記念事業について

平成 30 年度に、117 委員会の創立 70 周年を迎えることに合わせ、記念講演会など記念事業を予定している。記念誌発刊も計画しており、編集作業の準備を始めている。

⑤ ホームページについて

117 委員会のオリジナルホームページに、過去の発表記録やイベント写真などコンテンツを大きく拡充した。最新情報や発表予定タイトルも一部掲載しているので、定期的な閲覧をお勧めする。

(2) 分科会資料 (発表順)

- 117-317-C-1 炭素繊維への表面処理の CFRTP 力学物性への効果・リサイクル炭素繊維への影響
(名古屋大) ○入澤寿平、田邊靖博、飯田純也、稲垣良平、岩村亮介、氏原研人
- 117-317-C-2 Carbon-Coated Mesoporous Silica as a Model Material of Porous Carbons in Electrochemical Applications
(東北大) ○Alberto Castro-Muniz, Yasuto Hoshikawa, Takatoshi Kasukabe,

- Hiroshi Komiyama, Takashi Kyotani
- 117-317-A-1 炭素材のk空間ジオメトリー、Bragg反射とBrillouinゾーン
(東京都市大名誉) ○菱山幸宥, 鎗木裕
- 117-317-B-1 学振法の課題と将来
(大阪ガス) ○藤本宏之
- 117-317-B-2 炭素繊維表面の液相酸化処理
(東大院工) 三井希, (産総研つくば) ○羽鳥浩章

4-3 その他報告事項

(1) 炭素材料学会近況報告

※ 羽鳥委員 (学会運営委員長) より学会運営について以下の報告があった。

- ・ 6/10 に先端科学技術講習会が京都で行われる。テーマは蓄電池用炭素材料負極。
- ・ 年会は 12/7-9 に千葉大けやき会館で行われる。加納委員に会場をお願いし、準備中。
- ・ 本年度の学会賞の募集を行っているので、積極的に自薦他薦をお願いしたい。
- ・ 若手研究者を対象に国際会議・CARBON への参加補助を行っている。今年はすでに締め切られたが、来年以降も制度は継続するので、ご承知おきいただいて活用してほしい。

※ 曾根田会員 (学会編集委員長) より以下の報告があった。

- ・ 1月と4月に 271号、272号がそれぞれ発行された。273号は 6/15 予定で、学会賞レビューが掲載される。
- ・ 昨年の年会で炭素誌に関するアンケートを行い、炭素誌に高い期待を抱いているという意見が多数寄せられた。今後もいっそうの投稿をお願いしたい。

※ 干川会員より、8/29-30 に第 54 回の夏季セミナーが長野県で次世代の会主催で開催されることが報告された。遠藤幹事、羽鳥委員などに講演を依頼しており、また、例年同様に企業セッションなども設けられるので、興味のある方はぜひ参加をしてほしい。

(2) 国際会議関係

- ・ CARBON2016 は 7月 10-15 日にペンシルバニア州立大学 (米国) で行われる。CARBON2017 はオーストラリアで開催。
- ・ 第 6 回の日独セミナーを、117 委員会主催で 2017 年 9 月に関西地区で開催することが決定している。

(3) CARBON 誌関係

- ・ 昨年は年間 3500 報超、現在、月 300 報以上の投稿があり、採択は厳しくなる傾向にあるが、日本からも積極的な投稿をお願いする。

(4) その他報告

- ・ 特になし

(以上)